

GO! GO!! **KAWASAKI Frontale** 2017 川崎フロンターレ展  
 12月16日(土)～1月14日(日) 川崎市市民ミュージアム  
 優勝シャレー、表彰台展示、フロンターレ写真展など  
 詳しくは 川崎フロンターレ 検索

文部科学大臣表彰

## 「協働」で多摩区2団体

中野島・宿河原から受賞



(左から) 粕谷さん、大下さん、佐々木さん



大石さんと関山園長(右)

同表彰は地域と学校が連携した活動のうち、他の模範と認められたものに対して実施。今年度は全国で150、市内では両活動を含む3団体が受賞し、今月7日に表彰式が行われた。

**2つの軸を継続**  
 地域の寺子屋事業は川崎市が2014年度に開始したもので、中野島小学校ではNPO法人かわさき創造プロジェクトが運営を続けている。初年度から毎週金曜日の放課後に行う「学習支援」と、月に1度土曜日

中野島小学校の地域の寺子屋事業「遊びと学びの寺子屋」と宿河原幼稚園の保護者有志らによる「宿幼くまもと応援地域本部」の活動が、2017年度の「地域学校協働活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞した。

表彰式には同NPOの大下勝巳さんと粕谷充子さん、寺子屋先生の佐々木春さんが参加。大下さんは「地域の人や保護者にも寺子屋のことをさらに理解してもらえよう伝えていきたい」と話した。また、同校の山崎恵子校長は「子どもたちにとっても、いい経験

### 保護者の声、形に

宿幼くまもと応援地域本部は昨年4月の熊本地震発生を受け、保護者有志の呼びかけで立ち上がった。幼稚園を地域の窓口として支援物資や募金を収集。フェリスイベント募金や応援旗製作なども行い、同月下旬には被災地の産婦人科と避難所、8月には小学校と保育園へ送った。町会や商店

験をさせてもらっている」と感謝の気持ちを述べた。

会などの催しても呼びかけを続け、広く活動を周知。被災地との交流は今も続き、今月9日に行われた同幼稚園の作品展でも熊本支援のコーナーが設けられた。保護者の一人を中心として活動した大石裕子さんは「幼稚園が基盤となることで小さな声が大きき活動になった」と振り返る。同園の関山真弘園長は「純粋なお母さんの気持ちが形になった。今後も継続していけたら」と思いを語った。

## スタンプラリー開始

生田中央商店会 年末まで

生田中央商店会(森山隆会長)主催の恒例企画「スタンプラリー」がきょう15日から12月31日(日)まで、商店街内で開催される。加盟店の魅力を知ってもらうと、毎年企画されているイベントで、景品は同会加盟店で使える商品券(有効期限あり)55本。スタンプ

参加者全員にもれなく生活雑貨のノベルティをプレゼント。さらに当日限定の契約特典もある。申込み、問合せは「タウンニュース見た」で左記へ。

設置店の応募箱(12月末まで)に入れるか、はがきに貼って〒214-0003 8多摩区生田7の11の5クリオホーム「スタンプラリー係」へ。はがきは1月15日(月)必着。当選者には1月31日(木)に景品が発送される。当選発表は同会ウェブサイト(<http://kuta.org>)。一部でスタンプラリーを実施していない加盟店もある。事前確認が必要。

## 1日限定「らくらくスマホ教室」

12月27日(水) ドコモショップ稲城矢野口店

ドコモショップ稲城矢野口店(JR南武線矢野口駅徒歩1分)で12月27日(水)1日限定の「らくらくスマホ教室」が開催される。参加無料。要事前予約。

インターネットや高画質カメラなど、便利な機能で生活を豊かにしてくれるスマートフォン。折れたたみのケータイからスマホに変えたい「スマホを使ってみたいけれど難しそう」という

人にぜひ参加してもらいたいのがこの教室だ。

当日は「らくらくスマートフォン」を実際に操作しながら、電話のかけ方やメールの使い方、カメラ撮影など、基本的な操作を



毎月新進気鋭の作家が

しんゆり寄席 桂小南が上六 23日川崎市